

平成19年度 高冷地水稻生育速報(第2報)

岐阜県中山間農業研究所

1. 生育概況(6月19日調査)

品種名	年度	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉色		葉齡
				葉色板	SPAD値	
コシヒカリ	本年	28.5 (86%)	293 (70%)	4.3 (-0.7)	37.6 (-2.3)	7.3 (-0.2)
	前年	34.2	477	4.5	40.3	7.2
	平年	33.3	416	5.0	39.9	7.5
ひとめぼれ	本年	26.1 (84%)	364 (84%)	4.6 (-0.3)	39.2 (-1.2)	7.4 (+0.0)
	前年	30.6	502	4.5	42.6	7.2
	平年	30.9	432	4.9	40.4	7.4
たかやまもち	本年	29.0 (84%)	295 (74%)	4.3 (-0.7)	37.1 (-2.7)	7.4 (-0.2)
	前年	36.8	486	4.8	42.7	7.1
	平年	34.5	400	5.0	39.8	7.6
ひだほまれ	本年	32.1 (88%)	293 (78%)	4.2 (-0.6)	36.9 (-1.1)	7.7 (+0.0)
	前年	37.0	397	4.5	40.5	7.4
	平年	36.4	378	4.8	38.0	7.7

栽培条件: 移植5月17日 栽植密度22.2株/m² 1株4本稚苗移植 基肥N=0.5kg/a
 平年値: 過去5年間の平均値
 ()内の数値は対平年値

2. 生育状況と当面の管理

1) 生育状況

東海地方は、6月14日ごろと平年(6月8日ごろ)より6日遅く梅雨入りした(平年では6月10日ごろに梅雨入りとなる北陸地方は、まだ梅雨入りが発表されていない)。梅雨に入ったが、降水量は少なく気温も平年並みからやや高めで推移している。

草丈は、前回調査時からあまり伸長せず、いずれの品種も対平年値で84~88%と短くなっている。茎数は、「ひとめぼれ」で最も多いものの、対平年値84%と少なく、他の品種では対平年値の70~78%と極めて少ない。

葉色は、葉色板、SPAD値ともに、いずれの品種も平年に比べ淡くなっている。葉齡は、草丈と同様にあまり進んでおらず、前回調査時の平年並みから後退し、「コシヒカリ」と「たかやまもち」でやや遅れが見られるようになった。

2) 病虫害等の発生状況

イネミズゾウムシ(成虫)が依然として発生しており、食害痕が見られる。イネアオムシ(フタオビコヤガ)の若齡幼虫に加えて、イネツトムシ(イチモンジセセリ)の若齡幼虫も発生し始めている。

3) 今後の管理

「分けつ肥」等の追肥は控え(特に「コシヒカリ」と「ひとめぼれ」)、早期中干しを行っていないほ場では、梅雨の晴れ間を利用して必ず実施する。早期中干し後の水管理は間断灌水とし、根を健全に保つこと。

補植用の苗は、「葉いもち」の発生源となるので取り除き、「葉いもち」の発生に注意する。

<参考> 前回(6月12日)の生育概況

品種名	年度	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉色		葉齡
				葉色板	SPAD値	
コシヒカリ	本年	25.8 (97%)	202 (74%)	4.3 (-0.4)	36.2 (-0.4)	6.2 (+0.0)
	前年	24.0	351	3.7	37.0	5.8
	平年	26.6	274	4.7	36.6	6.2
ひとめぼれ	本年	22.2 (93%)	249 (87%)	4.2 (-0.6)	38.9 (+0.3)	6.3 (+0.2)
	前年	20.5	366	4.1	38.0	5.8
	平年	24.0	287	4.8	38.6	6.1
たかやまもち	本年	26.0 (93%)	209 (80%)	4.2 (-0.5)	36.6 (+0.3)	6.2 (-0.1)
	前年	28.0	349	4.1	38.1	5.7
	平年	27.9	261	4.7	36.3	6.3
ひだほまれ	本年	27.3 (97%)	193 (76%)	4.2 (-0.3)	35.2 (-1.3)	6.4 (+0.1)
	前年	28.0	282	3.8	37.6	6.1
	平年	28.1	254	4.5	36.5	6.3

岐阜県中山間農業研究所

TEL 0577-73-2029

FAX 0577-73-2751

<http://www.cc.rd.pref.gifu.jp/k-agri/>